

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果の検証  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用して実施した事業内容							事業の成果 および 今後の方針	外部有識者からの評価	
	事業名称	事業の概要：目的	事業の概要：充当経費	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値			評価	主な意見
				指標	指標値	実績値	事業効果			
1	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事務	市における地方版総合戦略の策定を実施する。	外部機関への計画策定委託、専門第三者委員会による協議、住民意識調査等を実施する。	古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定	策定完了	策定・公表 (H28年3月末)	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中5人が有効と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の総合的な政策遂行において有効である。</li> <li>計画実現に向け、民間事業者等と連携しながら具体的な事業展開を行っていく必要がある。</li> </ul>	
2	ふるさと就労促進事業	市内雇用の促進と若年人口の確保を目的とし、UIJターン者等で市内居住(見込)者を雇用した企業に対して助成を行う。	UIJターン者等を雇用した市内企業に対し、助成金を支給する。	市内企業に新規就労したUIJターン者等数	20人	47人	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中5人が有効と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業は積極的な活用を行っており、大きな実績に繋がっている。今後は広く周知を行い、企業の雇用拡大に繋げていただきたい。</li> <li>市民の雇用拡大、定住化促進に一定の効果が見られる。</li> <li>社宅建設に関する補助金制度などもあれば企業として更に有効である。</li> </ul>	
3	先進的農業技術導入支援事業	比較的安価ながら収量増加など生産性向上が見込まれる先進的農業技術の導入を促進することにより、高収益型園芸農業の推進を図る。	先進的農業技術を複数導入する農業者に対する補助を実施	反当り収量	3 t/年	2.5 t/年	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中4人が有効と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の生産性向上に一定の効果が見られる。</li> <li>今後はより多くの団体に対し、どのように先進的農業技術の導入へのインセンティブを高めていくかが課題。</li> <li>担い手の教育についての施策を期待したい。</li> </ul>	
4	観光促進事業	市内の主要施設(古賀市役所、サンコスモ古賀、コスモス館、サンフレアこが)に無料公衆無線LAN、デジタルサイネージを設置するとともに、観光協会やなの花まつり、薬王寺温泉への支援を実施し、古賀市の観光を市内外にPRし、観光振興を図る。	市内の主要施設(古賀市役所、サンコスモ古賀、コスモス館、サンフレアこが)に無料公衆無線LAN、デジタルサイネージを設置するとともに、観光協会やなの花まつり実行委員会への補助、古賀市の転入者へ薬王寺温泉の利用券を配布する。	薬王寺温泉の利用者数	100,000人	124,481人	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中3人が有効と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数の飛躍的な伸びに繋がり、大きな成果が出ている。</li> <li>デジタルサイネージの設置箇所は人が立ち止ってゆっくり観られる場所に設置されていないので、映像のPR効果が薄いように感じる。</li> <li>Wi-Fiについては更なるPRで効果が上がるのではないかと。</li> </ul>	
5	空き家・空き地対策事業	市内の空き家・空き地について実態調査を実施し、今後の有効な利活用等について検討を行う。	空き家・空き地の実態調査を実施する。	利活用可能な空き家・空き地バンク等の作成・公表	作成・公表の完了	作成・公表 (H28年3月末)	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中4人が有効と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内不動産業者と連携する仕組みづくりもできており、今後は空き家バンクの活用による定住化支援が必要。</li> <li>長期的な視点で効果を検証すべき事業であると考えられる。</li> </ul>	

No	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用して実施した事業内容						事業の成果 および 今後の方針	外部有識者からの評価		
	事業名称	事業の概要：目的	事業の概要：充当経費	重要業績評価指標（KPI）		事業終了後の実績値		評価	主な意見	
				指標	指標値	実績値				事業効果
6	玄望園雇用創出基盤整備計画事業	工業団地等整備計画地区である玄望園の周辺道路の交通特性の分析を行い、企業立地の促進と地域雇用の創出に向けた都市基盤整備の方針を定める。	玄望園周辺道路等基盤整備計画の策定を実施する。	玄望園周辺道路等基盤整備計画の策定	策定完了	策定 (H28年3月末)	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中4人が有効と評価	・地理的優位性が高い玄望園地区への企業誘致は、雇用の大幅な増加が期待できる。 ・近隣の福津・宗像の世界文化遺産登録により来訪者増が予測されるためスマートインター実現に期待したい。 ・計画をいかに実現に移していくかが課題である。	
7	学校給食費負担軽減事業	第3子以降の子の学校給食費に対して補助を実施することにより、子育て世帯支援を実施し、出生率の向上と子育て世帯の定住を図る。	第3子以降の小中学生を養育する保護者に対し、学校給食費の半額を補助する。	子育て世帯の満足度の向上	12 %	11 %	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中4人が有効と評価	・給食費は保護者の負担の中でウェイトが高いため、多子世帯への経済的負担軽減になっている。第3子の全額無料化、第2子の半額補助等が実現すれば更に理想的である。 ・子育て世帯への経済的負担軽減により、定住化促進が期待できる。	
8	子ども医療費助成事業	小、中、高校生の医療費を補助することにより、子育て世帯支援を実施し、出生率の向上と子育て世帯の定住を図る。	小学生、中学生、高校生への医療費を助成する。 【助成内容】 ・通院医療費 小学生を対象 (自己負担上限 1,500円/月) ・入院医療費 小学生、中学生、高校生を対象 (500円/日で月に10,000円を限度)	子育て世帯の満足度の向上	12 %	11 %	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中4人が有効と評価	・医療費が一番かかる乳幼児・未就学児以降、高校生までの医療費補助は子育て世帯にとっては魅力的。今後は働くママをサポートするため、病児保育施設の早期導入を期待したい。 ・子育て世帯への経済的負担軽減により、定住化促進が期待できる。	
9	高齢者生きがいがづくり支援事業	地元主催で取り組んでいる公民館における高齢者対象の音楽教室の充実を図り、開催箇所の増加を促すことで、高齢者の外出促進や健康な体づくりを進めると同時に、若い世代との交流につなげる。	鍵盤ハーモニカを貸し出し、開催箇所の増加を図る。 鍵盤ハーモニカ（1,944千円）、その他消耗品（18千円）	「活き活き音学校」の開催箇所	13箇所	開催箇所 10箇所 開催準備中 6箇所	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった  5人中5人が有効と評価	・高齢者の交流の場を提供しており、地域コミュニティの強化に繋がっている。 ・高齢者の身体機能向上も含め、ますますの広がりを見込みたい。 ・地域、子どもと一緒に楽しめるものになるとより良い。	
10	小中学校図書館市民開放事業	多世代交流を図るため、小中学校図書館を地域住民に開放するとともに、子育て世代から高齢者世代まで幅広く嗜好に合う新聞を図書館に設置することで多世代の来場者数の増加を促し、小さな拠点の形成を図る。	図書館開放のために必要な備品 (1,131千円) ・テーブル、椅子 ・パーテーション 多世代交流を促すために必要なもの (1,181千円) ・新聞、新聞ホルダー	利用者の満足度	75 %	73 %	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない  5人中3人が有効とは言えない	・利用者数からPR不足ではないか。リタイア世代が一時的に利用するだけで多世代交流に至っていないのではないかと。利用者増に向けてのPR強化、交流を目的とするなら更なる施策が必要。 ・費用対効果の観点から、新聞等の設置費用に対する利用水準が低い。	